

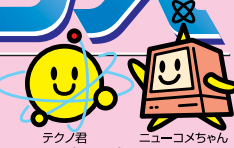
●編集発行 財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構

郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

〒963-0101 福島県郡山市安積町日出山字北千保19番8 ビッグパレットふくしま3階 ☎(024)947-4400 FAX(024)947-4475

■ホームページのアドレス <http://www.techno-media.net6.or.jp>

■Eメール [テクノ] techno@nm.net6.or.jp [ニューコム] info@nm.net6.or.jp



サザンクロスとは・・・

郡山地域テクノポリスは、あたかも航海の指針となる南十字星(サザンクロス)のように「21世紀に花開く東北の時代」を先導する地域となることをめざします。

Techno Topics

新技术創出の拠点 次世代工学技術研究センター がオープンしました。

【最新NEWS】

4月13日、日本大学工学部のキャンパス内に鉄筋コンクリート造3階建ての研究開発拠点施設がオープンしました。



これまで医学と工学などそれぞれの分野で研究がなされてきました。21世紀は、分野の垣根を越えた連携による新技術創出が不可欠となっています。このセンターは、日大工学部がこれまで取り組んできた医療技術への応用を狙ったセンサーの開発や計測システム、画像を含めたIT技術、機能性材料などの研究成果を生かし、医学分野における新しい診断装置の開発に取り組むこととしています。

【2つの研究テーマ】

研究プロジェクト1の目標は「医療分野における新しい診断装置や検査技術の開発」でX線CTと超音波診断装置による画像情報と生体組織の力学特性との相関に関する基礎的研究などが行われます。また、プロジェクト2は「ナノスケール及びナノメーターオーダー構造制御による新規機能材料の創製」で生理活性物質の分子認識に基づく構造分離分析材料の開発などが行われることになっています。

【主要な研究設備】

最新の医療機器を完備した手術室のほか、X線CT、内視鏡外科手術システム、遺伝子解析装置、固体試料測定用超電導核磁気共鳴測定装置、走査型プローブ顕微鏡システム、高精度昇温脱離ガス分析装置、電界放射形走査電子顕微鏡、結晶方位解析装置などが整備されており、企業も利用できることとなっています。



小野沢元久工学部長

「小野沢元久工学部長」

「大学の研究成果を活用し、知的財産を地域社会に還元することは大学の使命と考えています。このセンターは学内だけのものではありません。地域企業の方々に使っていただくと思います。気軽にこのセンターにおいでいただきたいと思

「ベンチャー発祥の地 シリコンバレー」の産学連携は！ （クリス・コンスタンチノ教授）語る

5月20日、このセンターの完成を記念して講演会と施設見学会を開催しました。講演会では150名の聴衆を前にスタンフォード大学医学部のクリス・コンスタンチノ教授が「シリコンバレーが大学と地域の連携の中でどのように生まれたのか、また、今の姿はどうなっているか」について現地の写真を駆使して紹介しました。氏はスタンフォード大学と地域との関係が深い事例として「大学の構内には300店舗以上の店舗が入っているシリコンバレー」がある。工業団地も存在している。地域の人々は自由に大学に入出入りしていることなどをあげました。大学のライセンス収入について、「遺伝子組み換え技術、クロールン技術のライセンス供与にかかる手数料は2億3千万ドルを越えている。ライセンス供与は467社に及んでいる。日本の山之内製薬もこちらの研究所で研究している。パソコンや音楽シンセサイザー・音源では日本のヤマハと独占契約を結び2290万ドルの収入がある。」と述べました。日本の主要大学のTLOのライセンス収入の合計が今年4月までの3年半で4億5千万円である



こうして生まれた医学の有機的連携

理事会、評議員会開催

～平成13年度事業報告、決算を承認～



5月22日に開催された理事会

平成14年度第一回の評議員会は5月17日(金)、第一回理事会は5月22日(水)、ともにビッグパレットふくしまで開催されました。事業報告では、大学や研究機関などと企業との産学連携の可能性について調査した「産学共同研究開発可能性調査研究事業」を行ったこと、各企業の技術者が集って、各自のスキルアップや相互交流を図るための「技術者交流プラザ」、さらには「ニューメディアコミュニティ事業推進協議会」と連携して、ITに関心のある企業やSOHO、個人の交流の促進を図る「IT交流プ

ことを考えると驚く数字です。

また、大学の資金源は36%がスポンサーつきの研究費、基金・投資で25%、学生からの収入が15%あること、大学に対する寄付は2000年が5億8千万ドル、2001年は4億6900万ドルで卒業生の寄付も多額に上っていること、スポンサーつきのプロジェクトは2000年から2002年で2400件、6億6千万ドルであることなど日本の大学との大きな違いを紹介しました。

大学の技術ライセンス事務局について「市や企業、銀行と商談してライセンス供与をしている。教授や学生の発明を特許化したり、販権化する仕事をしている。日立、マイクソフ、富士通などからの寄付もある。」と述べ、ライセンス使用料については1969年が5万ドルだったものが、2001年度は4120万ドルと大幅に拡大していること、2001年度に収入を生み出した377件の発明のうち47件は10万ドル以上の収入を生み出していることを紹介、大学と産業界の結びつきがいかに深いかを感じました。

さらに、ライセンス化にあたってのプロセスや評価の方法、申請にあたっての判断基準等についての大学の取り扱いを説明し、最後にサンマイクロシステムズ、アキソンなどシリコンバレーを代表する企業を紹介して講演を終えました。高度技術を持つ産業界の集積を目指す郡山地域にとって、ハイテク産業界集積の世界モデル、シリコンバレーの大学と産業界そして地域との連携の姿は大いに参考となるものでした。

講演の後、施設見学会には70名を越える参加者があり最新の設備を備えたこのセンターを大きな期待を持って見学していました。

この施設に関するお問い合わせは

日本大学工学部次世代工学技術研究センター
電話 024(956)8901まで。



監事 壁谷保彦氏

理事 丹野一男氏



ラザ」の2つの交流プラザを設立したこと、地域内の企業のスキルアップを図るため、医療福祉分野、環境関連分野について各種セミナーを開催したこと、セミナーや研修会、助成制度等の情報を提供するためメルマガジンを創刊したことなどが報告されました。決算では、収入が1億1425万円の余、支出は1億739万円の余となり、翌年度の繰越は686万円の余となりました。このことについて説明があり、原案の通り、承認されました。また、評議員会では山口忠宏理事の後任として、福島県商工労働部部長の丹野一男氏、鈴木征夫監事の後任として、郡山市商工労働部部長の壁谷保彦氏が選任され、理事会では、池邊八洲評議員の後任に会津大学教授の太川知氏を選任しました。なお、5月8日の第一回理事会書面表記で山田弘明評議員と菅野義忠評議員の後任として、県ハイテクプラザ副所長の芝昭雄氏、県農業試験場場長の榎本優氏が選任されています。

平成14年度郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会(総会)開催

4月24日(水)ビッグバレットふくしまにおいて、委員20名の出席のもと、平成14年度定例会総会が開催されました。はじめに、人事異動等に伴う委員の選任が行われ、新たに6名の委員を新任教しました。

議事では、平成13年度の事業報告、決算報告のほか、平成14年度の事業として、情報通信産業の資質向上と新事業の創出、並びに幅広い産業の支援のための「IT交流プラザ事業」の一層の充実、人材育成研修事業として一般住民のITリテラシー向上と企業内の高度情報化人材を育成する多様なパソコン研修会の開催、情報産業支援や、IT活用研究会事業に取り組みこと決めました。

主な事業は、次のとおりです。

- ◆「IT交流プラザ事業」
 - IT活用や技術動向などをテーマとした講演会、セミナーを年4回開催します。(登録会員182名/129社)
- ◆「情報化人材育成・研修事業」
 - 多様なニーズに対応したパソコン研修会を開催します。
 - 一般住民向け ワード・エクセル実用
 - 企業向け 検定取得 パワーポイント・ホームページ・ネットワーク管理者コース他



新任の委員は、次の通りです。

- ・福井邦頼(郡山商工会議所工業委員長)
- ・増川章一(東日本電信電話(株)郡山支店長)
- ・菅野康男(県イグドラシル・プラン推進グループリーダー)
- ・芝 昭雄(県ハイテクプラザ副所長)
- ・大河原直博(鏡石町参事兼総務課長)
- ・壁谷保彦(郡山市商工労働部長)

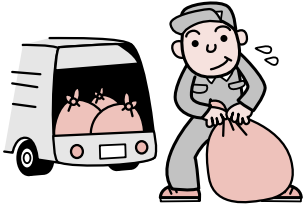
産業廃棄物 処分場が足りない

環境への負荷の少ない循環型社会形成のために、各方面で様々な取り組みが行われています。今回は、行政における取り組み状況を把握するため福島県環境対策室から担当者をお招き「福島県の産業廃棄物処理計画の現状と今後の展望」と題して4月26日(ビッグバレット)でセミナーを開催しました。廃棄物処理関連業者など約50名が参加しました。

第一部では、「福島県の産業廃棄物処理計画」の概要説明があり、産業廃棄物の発生量に比較して最終処分場の設置数及び残存容量が著しく少ない県中地区等において、管理型最終処分場の整備事業を推進するとともに、減量化・再生利用のための中間処理施設等の整備について、その必要性も含め検討を行う旨の話がありました。

第二部では、第一部での説明内容を踏まえ各地域における産業廃棄物の発生及び処理状況等について具体的な数字を基に、なぜ「県中地区環境整備センター(仮称)」が必要なのか説明がありました。

国では、産業廃棄物処理者の責任において適正に処理するという原則のもと、産業廃棄物の排出量、処理量等の見直しを踏まえ、排出抑制及び適正な循環的利用を促進し、産業廃棄物の処理体制を確保する観点から、公共(行政)関与による安全で安心できる処理施設の整備促進を基本的方針として取り組んでいます。



アドホック研究会(郡山・須賀川)の 新年度重点事業等が決まりました。

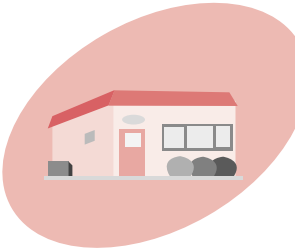
異業種交流を目的とした「アドホック研究会(郡山)」「須賀川方面アドホック研究会」の定期総会が、ともに4月24日に開催されました。

郡山地区のアドホック研究会では、今年度の重点事業として、今後成長が

「研究会会員募集」一緒に考えませんか?ご自身の住まいについて

住まいには、ニーズや暮らしの変化に対応した価値が求められ、同時に気密・断熱・防湿など多種多様な技術要素、更には高齢化対応、環境対応などのユニバーサルデザインといった人間工学的要素を併せて、周辺技術についての研究開発要素が多く、そこから生まれる技術は他の分野への応用も可能なものが多いはずです。

そこで、我がふる里の「ふくしまの住まいづくり」についての研究会を発足します。



また、副会長を2人とし、活動を活性化することとしました。

今年度の会長・副会長は次のとおりです(敬称略)。

会長 藤島 寿
(南ミナミスポーツ企画代表取締役)

副会長 谷島 昇
(株式会社モテック代表取締役)

縮役
篠原政満
(東京精工(株)開発管理図面担当部長)

アドホック研究会(郡山・須賀川)の 新年度重点事業等が決まりました。

期待できる「環境・リサイクル」関連産業の研究について積極的に取り組んでいくこと、また、各会員が持つ商品開発等の個別の研究テーマを、月例で取り上げて分科会を開催し問題解決に努力することを決めました。



テクノ君レポート

日本大学工学部工学研究所「テクノポリス技術サポートオフィスNU」のアドバイザーの先生が変わったと聞いて日本大学工学部研究事務課外山課長にお話を伺いました。

テクノ君 外山課長 「あらためて、NUとはどのようなことをするのか、教えてください。」

テクノ君 外山課長 「日本大学工学部と(財)郡山地域テクノポリス推進機構が共同で開設し、地域の皆様の新事業創造に向けた技術的相談等を受けています。昨年は150件ほどの相談がありました。」

テクノ君 外山課長 「どのような相談ができますか。」

テクノ君 外山課長 「日本大学工学部の先生方の所有する技術に関するあらゆる分野に対する相談が可能です。」

テクノ君 外山課長 「どこへ行けば相談できますか。」

テクノ君 外山課長 「安積町のビッグバレット3階にある(財)郡山地域テクノポリス推進機構の事務室内に常設しています。相談は午前10時から午後3時までです。」

テクノ君 外山課長 「今回、担当の先生が変わったと聞きました。曜日毎のアドバイザーは。」

テクノ君 外山課長 「月・金が、木村圭二先生(土木建築学)、火・木が佐藤光正先生(機械工学)、水が柳沼力夫先生(工業化学)です。専門学以外の相談でも日本大学工学部の窓口として、担当の先生を紹介いたします。お気軽に相談にお出で下さい。」

テクノ君 外山課長 「相談件数もどんどん増えるといいですね。本日は、どうもありがとうございました。」



14年度パソコン研修会

5月下旬から、圏域内6教室の会場を使って前期パソコン研修会が始まりました。

昨年からの講習時間、料金を共におさへ、次のような幅広い講座を開催しています。

①Word/Excel実用コース、②資格・検定取得コース、③Webデザイン・養成コース、④パワーポイントコース、⑤ホームページ作成コースなど。

前期分、次の講座はまだ募集を受け付けておりますので、受講を希望される方は、事務局までお申込をお願いいたします。

「こんな講座があったらいいな!」など研修会へのご要望が事務局までご意見をお寄せ下さい。

E-Mail: info@nm.net.or.jp

「アドホック研究会」では、今年度の重点事業として、今後成長が期待できる「環境・リサイクル」関連産業の研究について積極的に取り組んでいくこと、また、各会員が持つ商品開発等の個別の研究テーマを、月例で取り上げて分科会を開催し問題解決に努力することを決めました。

また、副会長を2人とし、活動を活性化することとしました。

今年度の会長・副会長は次のとおりです(敬称略)。

会長 藤島 寿
(南ミナミスポーツ企画代表取締役)

副会長 谷島 昇
(株式会社モテック代表取締役)

縮役
篠原政満
(東京精工(株)開発管理図面担当部長)

アドホック研究会では、異業種交流に積極的に取り組む意欲ある企業の参加を希望されています。参加を希望される事業所は、(財)郡山地域テクノポリス推進機構まで

電話 024(947)4400

〒260-0201 郡山市南大町1-1-1
Mous Word 2000
又は Excel 2000
一般取得コース

会場 富士通オープンカレッジ郡山校

講習時間 各20時間

受講料金 各31,500円(テキスト模範試験料込み(検定料は別))



「おのづから」も「ユニバーサルデザインを」

障害の有無や性別、年齢などを問わず誰もが使いやすい製品や生活空間、制度などをつくり出す「ユニバーサルデザイン」(以下「UD」と表す)。

これまでのものづくりでは、複雑な機能を満載し、使いやすさが後回しにされていた。さらには、入り込んだ製品は、単機能のものも多く、操作も簡単です。価格的には決して安いとは言えませんが、それでも売り上げが順調に伸びているのは、従来製品に対して消費者が根強い不満を持っているからという指摘もあります。

また、UD製品の登場は、消費者の商品やサービスを選択の幅を広げ、メーカーにとっては、より大きな市場を対象とすることができると効果

があります。さらに、高齢化が進み、高齢者が自立して生活していくことができる社会環境を作ることが重要とされている今日、このような社会の動きに対応するために、今後ますますUDを取り入れたものづくりが必要とされています。

財団ではこれまでユニバーサルデザインフェスティバルを通じてUDの普及啓蒙に取り組んできましたが、今年度は福島県からの委託により、ユニバーサルデザインを取り入れたものづくり研究会を発足させ、そこから出された検討内容を広く周知することで、県内の製造業に普及促進を図ります。

「ビジネスコンソーシアム東北2002」が開催されます。

11月21日(木)・22日(金)の両日、「ビッグバレットふくしま」で、「ビジネスコンソーシアム東北2002」が開催されます。

今年で4回目を迎えるこの催しは、新しい製品、技術、サービスなどを有する企業が、情報発信、販路開拓、技術交流を行う場として開催され、全国から200社程度の企業、学術・支援機関の出席が予定されています。

昨年は、「ハイテクセミナー」や「特許流通フェア」等の事業も同時開催され、期間中の入場者数は、6400名と過去最高を記録しました。当財団でも「テクノニコーメコナー」を設けました。



当財団から助成を受けて、新事業創出や新技術の開発に積極的に取り組んでいる13の企業や研究会が新製品や研究内容を披露しました。

福島県起業家支援公式サイト「うつくしま・eBiz」オープン

うつくしまプラットフォーム福島県の新事業創出促進に向けた県内支援機関等による公的支援ネットワークが運営する県内起業家支援のための公式サイト「うつくしま・eBiz」が4月30日にオープンしました。

ここでは、新たな事業に取り組む皆様方のお役に立てるようメールによる相談対応、新鮮な情報の提供、魅力ある交流の場の提供を行ってまいります。掲載概略は、次のとおりです。どうぞご利用ください。

- ①県内支援機関の支援情報
 - ②メールによる相談
 - ③県内企業約2万社のデータベース掲載
 - ④専門支援人材の掲載
 - ⑤県内研究者の検索
 - ⑥県内産業団地の情報
 - ⑦セミナーの案内
- ⑧イベント情報
⑨構成団体、その他連携機関へのリンク
など、必要とするデータの検索が可能で、一度アクセスしてみませんか。
「アドレス」
<http://www.utsukushiman.net/>
- 【運営責任者】
財団法人福島県産業振興センター
電話024(523)4411



出展者の7割が「出展の結果があった」と回答し、また、来場者の半数以上が「来場目的は達成された」と回答し、さらに、平成14年1月の時点で商談が成立した件数が54件、商談進行中のものが85件を数えるなど、情報発信の場として非常に有効、効果的な催しであるといえます。

募集内容は、次のとおりです。企業の皆さんには、販路開拓のうえで大いに役立つこの催しに出展いただきたいと思ひます。

■募集内容
○申込締切 7月26日(金)
○出展料 1小間あたり3万5千円税込(複数小間申込可)



「IT交流プラザ」会員登録

現在、「IT交流プラザ」の会員数は182名(129社)となっています。

平成13年度は、会員の関心の高い「ブロードバンド」や「電子自治体」をテーマとしたセミナーを4回ほど開催しました。

本年度も、IT関連企業の資質向上と新事業創出、並びに幅広い産業の情報化や交流支援のため、年4〜5回ほどの「IT交流プラザ」を開催します。情報関連企業の方はもちろん、様々な業種の方に参加していただき、ITに関する相談や情報交換、講師を招いてのセミナーや勉強会などを予定しています。

また、必要に応じて、テーマ別に研究会や分科会なども設けます。

会員の皆様と、一緒にこのプラザを運営しながら、IT関連のニートビジネス創出や高度利用、研究開発支援に繋がるといふ「IT交流プラザ」になれると思ひます。

SOHOの方や個人など、どなたでも参加できる「IT交流プラザ」ですので、是非この機会に会員登録をお願いします。



◆入会のメリット
○電子自治体やIT活用に関するセミナー・講演会、会員交流会を年4〜5回開催しますので、情報交換や会員交流、ビジネスマッチングの機会が得られます。
○会員名簿(事業所要覧)を発行しますので、事業所などのPRができます。(年1回発行)
○ITに関するテーマ別分科会や研究会を設けますので、ベンチャー創業やITの高度活用などに結びつきます。

○その他、会員ニーズに沿った活動を展開します。

■申込み・問い合わせ
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
TEL 024(947)4400
FAX 024(947)4475
E-mail info@nm.net.or.jp
登録は、ホームページから
<http://www.techno-medianet.or.jp>



ニューコメちゃん「ITワンポイント」
このコーナーでは、素朴なITに関する疑問や、おもしろ話などを掲載していきます。

●ニューコメちゃん日記

○月×日
～メールのバックアップ～
最近、日が沈む時間が延びてきましたね。あーだ、こーだしている間に、もうそこまで夏が来ています。そろそろ、海水浴の準備でもしておこうかな？
前回は、メールの「フォルダ」について少しお話をしたけれど、今回はもうそこまで夏が来ています。そろそろ、海水浴の準備でもしておこうかな？
皆さんは定期的なメールのバックアップはしていますか？私は、月に一度はきちんと取っているわよ。
メールのソフトによっていろいろ違ってくるので、統計的に一番使われている「Outlook Express」について説明するわね！

それでは、早速説明に入りたいと思ひます。

まずは、メール本文のバックアップからだけ、データが保存されている場所をまずは探さなきゃね！

ソフトを立ち上げて、メニューバーの【ツール】-【オプション】を開いて【メンテナンス】のタグの【保存フォルダ】をクリックすると、データが保存されている場所がわかります。

次に、エクスプローラを立ち上げて、先ほどのフォルダを場所を見てください。階層の一番下に「Outlook Express」と書かれているフォルダがあって、その中に【dbx】の拡張子のファイルがあるんだけど、それが一番大事な！だから、【Outlook Express】のフォルダをMOやCD-R(RW)などにコピーしてね。これで、本文のバックアップは完了！

次に、アドレス帳のバックアップをしましょうね。
ツールバーの【アドレス】をクリックして、アドレス帳を出して下さい。メニューバーの【ファイル】-【エクスポート】-【アドレス帳】を選択してこれでもMOやCD-R(RW)などに保存すればOKよ！
後はアカウントかな？
メニューバーの【ツール】-【アカウント】のメールのタグを開きアカウントを選択して、「エクスポート」をクリック。これもアドレス帳と

同じく保存すればOKなのよ。

今度は、実際にデータを戻す場合の手順を説明するわよ。
本文は、メニューバーの【ファイル】-【インポート】-【メッセージ】を選択し、【Outlook Express4又は6】を選択して、【ストアディレクトリからメールをインポートする】をチェック、すると、データの場所を聞いてくるので【dbx】の入っているフォルダを選択(以前、MOやCD-R(RW)などにデータをコピーしたものの)、後は、手順通りで元に戻るわよ。
アドレス帳と、アカウントも、先ほどのエクスポートの作業のと同じで、代わりにインポートを選択して、データファイルを指定すればOKよ！

これで、メールに関しては、データが壊れても、パソコンが変わっても復旧できるわね！
私なんか、最近職場のパソコンを入れ替えたので、一人でこの作業をしてたわ…さすがに台数が多いと疲れるわね。

●身近でこんな事がありました。など、面白い話がありましたら事務局にお聞かせ下さい。
郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会



